

一中学生徒の最善最高の自覚と実践 NO4(R5.7.19)

○校長より 【一学期を振り返って】

一学期が終了します。本年度、重点的に取り組んできたことについて振り返ってみたいと思います。

・「挨拶」

当初に比べると生徒たちも挨拶することが普通になってきていると感じます。ただし、今回の学校評価（保護者分）に、授業参観の時のこととして、「先に来ていた子供たちが誰一人として挨拶しませんでした。もちろん先生方もいらっしゃったのに」というご意見もあったように、まだまだ十分ではありません。地域・家庭・学校でも「自分から」「元気な声で」挨拶ができるように、引き続き頑張っていきます。

・「学び合い」

問題を解き、生徒同士が協力して「みんながわかるようになる」ことを目標に活動する時間を朝から設定し「学力向上」に取り組んでいます。これは、だれとでも分け隔てなく関わるることができる集団づくりも目標にしており、生徒たちも少しずつ慣れてきているところです。今後、更に充実させていきます。

・「家庭学習」

「道標」の中身を変更し、「生活に関する部分」と「学習の部分」を一ページにまとめました。毎日提出できる生徒も多くなり、学習の中身も少しずつ充実してきています。中には、たくさんの問題を解き、答え合わせまでバッチリできているようなノートもあります。ただ、まだ100%の生徒が提出できている訳ではありません。自分のために工夫した学習のできる生徒が増えるように取り組んでいきます。

・「8時10分着席」

本校は8時10分に朝の会でスタートします。そのとき、道具をきちんと片付け席に着き落ち着いて始められるように余裕を持った登校を指導しています。大部分の生徒は8時5分までには門を通り過ぎて行くことができます。全員が落ち着いた一日のスタートを切れるよう続けて取り組んでいきます。

* 地域での安全な生活

特に公共の場での遊び方に注意してください。夏休みになりますのでご家庭でも地域の方の迷惑になる行為をしないようご注意よろしくをお願いします。

☆最善最高☆ 『県中体連結団式』



☆自覚と実践☆ 『3年上級学校説明会』

